

東芝CTユーザー会地域代表会議に関する報告

北海道CT遠友ser会 代表世話人 笹木 工

会員各位へ

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願い申し上げます。

昨年12月14日(土)、東芝CTユーザー会地域代表者会議に北海道CT遠友ser会代表世話人として、副代表の船山氏と共に出席させていただきました。全国各地で活動しているユーザー会の今後の方針を決めるべく、東芝メディカルシステムズ（以下、TMSC）の支社単位に分けた9つの地域から各地区代表者、TMSC各地区担当者、TMSC本社関係者など総勢約50名が東京国際フォーラムのガラス棟5階にある会議室に集まった。

始めにTMSC CT営業部の平柳氏より「東芝CTデスク構想案」について説明があった。

- ・ 東芝CTデスクを設け、中にMSCTデスクとADCTデスクをおく
- ・ 情報交換やディスカッションの場として機能させる
- ・ 地域ユーザーの要望集約、重要度の確認、開発部への伝達などを行う

これは各地域で様々に活動しているユーザー会を取りまとめて、製品の開発、ユーザーからの要望集約や回答、ユーザー間の情報交換やディスカッションの場をTMSCが設けるという趣旨であった。このデスク構想が正しく機能し、装置を使用している我々の満足度（質問に答えてもらい理解できた、要望を叶えてくれたなど）があがり、ひいては検査を受けられる方々への利益に繋がるためには、中核をなすMSCTデスクとADCTデスクの果たす役割が非常に大きく、この部分がしっかりしていないとデスク構想自体が怪しくなると思われた。次に各地域の代表者による現状報告が沖縄から行われ、北海道が一番最後であった。私は遠友ser会の設立経緯、設立までの準備や運用を開始してから行っている事、メルマガやホームページによる恒常的な情報発信や共有、入会割合（東芝CT導入病院に対して約60%）などを説明した。TMSCが考えているデスク構想の形として、我々の遠友ser会は近い物であると考えられるが、各地域の代表者報告を聞き、不足している部分が改めて浮き彫りになった。それは各ユーザーからの意見の吸い上げが不十分という点である。先刻ホームページでclickのみの記載部分がないアンケートを行った。今後も続ける予定ではあるが、違う形で意見や要望等の集約を図り会員各位の利益になるよう努力する所存である。

ご意見、ご質問はいつでも歓迎いたします。装置に関すること、会への意見など何でも結構です。ホームページの「お問い合わせ・FAQ」をclickして表示された画面の「？」マークをclickしてください。専用のページにjumpします。お待ちしております。

本年も北海道CT遠友ser会をよろしくお願い申し上げます。